

社会と情報

1. 学習の到達目標

- ・情報化の進展が社会に及ぼす影響を理解でき、情報社会に参加する上での望ましい態度を育成する。
- ・表現やコミュニケーションにおいてコンピュータなどを効果的に活用する能力を養成する。

2. 使用教科書

最新社会と情報新訂版（実教出版） 副教材：最新社会と情報学習ノート（実教出版）、
2018事例でわかる情報モラル（実教出版）、これだけOffice2016（数研出版）

3. 指導計画

月	単元	学習のねらい
4	1章 情報社会と私たち 1. 情報社会 2. 情報とメディア 3. 情報モラルと社会のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・情報や知識についての意味を理解する。 ・情報のデジタル化によるコミュニケーションの変化を理解する。 ・個人情報の意味と個人情報保護法について理解する。 ・知的財産権の構成について理解する。 ・産業財産権の種類と内容について事例を通じて理解する。 ・著作権の構成と各権利の内容、及び例外規定について理解する。
5	3章 表現と伝達 1. 表現の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・情報伝達する際の留意点について学ぶ。 ・チラシや案内状の作成を通じてわかりやすい情報伝達について学ぶ。
6	3章 表現と伝達 3. プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション実施の流れについて学ぶ。 ・プレゼンテーションのリハーサルや実施上の留意点について理解する。 ・プレゼンテーションの評価方法について学ぶ。
7		
8	2章 情報機器とデジタル表現 1. 情報機器とデジタル 2. デジタル表現	<ul style="list-style-type: none"> ・アナログとデジタルの意味について理解する。 ・デジタル化のメリットについて理解する。 ・情報を2進数で表現することについて理解する。 ・2進数・10進数・16進数の相互変換ができるようにする。 ・文字のデジタル表現について理解する。
9	前期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・音声の標本化、量子化、符号化について理解する。 ・周波数・周期の関係や、標本化定理について理解する。 ・音声のデータ量を求めることができるようにする。 ・静止画・動画のデータ量を求めることができるようにする。
10	3章 表現と伝達 2. 表計算ソフトの利用	<ul style="list-style-type: none"> ・表計算ソフトへのデータ入力について実習で学ぶ。 ・相対参照と絶対参照の使い分けについて実習で学ぶ。 ・表計算ソフトの関数の利用について理解する。 ・SUM、IFなどの関数を利用してデータの統計や、条件のある計算を実習で習得する。 ・各種のグラフとその特徴について学ぶ。 ・表計算ソフトを使ってグラフを作成する。
11		
12	4章 コミュニケーションとネットワーク 1. コミュニケーション 2. ネットワーク 3. 情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の進歩によるメディアの発達の歴史について理解する。 ・メディアの変遷によるメリット・デメリットについて理解する。 ・発信者と受信者の人数・位置関係によるコミュニケーションの分類について理解する。 ・同期・非同期によるコミュニケーションの分類について理解する。 ・WWWについて学び、ブラウザでWebページを表示する仕組みについて理解する。
1		
2	5章 情報社会と問題解決 3. 情報発信 後期末考査	<ul style="list-style-type: none"> ・Webサイト制作の流れについて理解する。 ・Webサイト制作実習を通じて、文字、画像の表示やリンクの設定を学ぶ。 ・Webサイトの評価方法について学ぶ。
3		

4. 評価の方法

実習課題、学習ノート、レポート提出